同胞沖縄の芸能の為に

折口信夫

青空文庫

渡嘉敷守良君が戦争中を無事でゐたことは、何にしても、琉球芸能にとつて幸であつたと思ふ。戦争前に新垣松含が亡くなり、又最幸福さうに見えて、定めて円満な晩年を遂げるだらうと思つてゐた玉城盛重老人が、国頭のどこかの村で、斃れ死んだと聞いてゐる。そんな中に、恰も琉球芸能の命脈を、この程度につゞけて行つてくれると言ふことは、芸能人にとつて、どれ程喜んでよい為事か訣らない。渡嘉敷君は正にその位置にゐる訣だから、十分その名誉と、更に大きな責任を負うてゐる事を自覚してもらひたい。渡嘉敷君は特に女踊りの達人であるが、年輩からして、老人踊りを踊つても如何にも優雅な味を示すやうになつて来た。舞や劇に優れてゐる事に、此人の才能を尊敬するよりも、まづ第一に、私などは、もつと此人の人間の優秀なのを知つてゐる。芸人らしくない、人間のよさにおいては、前にあげた二人よりも出来た人間だと思つてゐる。唯それだけに、人のよさから来る意志の弱さのあるのを、歎かずにはゐられない。あれだけ力を持ちながら、まゝ自信を失ふことがあるのではないか、と言ふ気がする。又その周囲にゐる人間に対しても、もつと目を睜る必要がある。さうした人の不心得が、渡嘉敷君の欠点として、人に写つて来る。それよりももつと惜しむことは、男子の弟子を育てるだけの意力を欠いてゐる点である。沖縄の踊りは、ちつとも女性の力に依頼することなく、永い歴史を経てゐる。女踊りにしても、女性の参加にたよることなく発達して来ただけに、その良さも、すべて男性的な点にある。女性が琉球踊りに不適当なことは、尾類（ズリ）の踊りを見ても訣る。守良君がその名の如く、沖縄の踊りの良質を守り遂げようとするならば、もつと男性の踊り手を養成してくれなければいけない。又沖縄の有志の方々も渡嘉敷ばかりに、芸能の苦労をさせると言ふことはない。あなた方はもとより、あなた方の子弟、及びそのほかの人々に踊りの教習を受けさす気になつてほしい。これだけは、何よりも先に気を揃へてしなければ、沖縄の踊りは亡びる、の一途を辿る外にない。あたた方に、あなた方の嫌ふことを強ひるのではないから、私は楽しい気持ちで、この提案をあなた方にする。

まづ渡嘉敷に男弟子あれ。

これが渡嘉敷君並びに沖縄同胞の方々に言ふ第一のことばである。

青空文庫情報

底本：「折口信夫全集　21」中央公論社
　　1996（平成8）年11月10日初版発行
底本の親本：「折口信夫全集　第十七巻」中央公論社
　　1967（昭和42）年3月25日
初出：「宮古島縁起プログラム」
　　1950（昭和25）年6月発行
※初出時の表題は「同胞沖縄の芸能のために」です。
※底本の題名の下に書かれている「昭和二十五年六月「宮古島縁起プログラム」」はファイル末の「初出」欄に移しました。
入力：門田裕志
校正：沼尻利通
2013年5月4日作成
2016年4月14日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

同胞沖縄の芸能の為に

折口信夫

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/